

## もっと現場を知る！職員短期派遣研修報告書

所属名	矢上高等学校	氏名	塚本 孝之
派遣先 団体名	元気はつらっプロジェクト委員会(布施公民館)		
<p>① 研修の日時 平成25年9月30日(月)～10月4日(金) ※計5日間</p> <p>② 研修の内容(できるだけ詳しく記載してください。)</p> <p>&lt;訪問調査の実施・集計&gt;</p> <p>地区内で生活している65歳以上の独居世帯および75歳以上のみの世帯を訪問し、地域の将来や暮らしの状況(買い物、交通、冬季の除雪や農地の維持管理等)、必要なサポート、地区出身の他出者らとのつながりの充実(他出者の帰省頻度・Uターンの意思等)を睨んだ聞き取り調査を実施。</p> <p>計31世帯を訪問。調査結果をエクセルで集計・とりまとめ後、地域マネージャー(地域の調整・つなぎ役を担う方)との意見交換を実施。</p>			
<p>③ 研修の感想</p> <p>(研修の全般的な感想、各団体での活動の意義や協働に対する感想(研修前後における意識の変化)等について記入してください。)</p> <p>訪問調査で地域の方から伺った「この地域に暮らしたい。ゆくゆくは子や孫に帰ってきてほしい。だけど、なかなか言い出すことができない。」、「車を運転できなくなったらどうするか、これまで考えたこともなかった。考えてみるとおおごとだ。(訪問調査が)問題を知るきっかけになった。」、「買い物や通院は、近くの友人の車に乗せてもらっているので助かっている。」といった声が特に印象深い。</p> <p>地域の方々の「ここに暮らしたい」という強い希望を受け止め、支えようとするプロジェクト委員会の実践に期待する声は大きく、取組みの深化に応じて各行政機関との協働を充実させていく場面や必要性も想定される。地域マネージャーからは「地域内の人同士では話しづらい事もある。地域を知らない地域外部の人だからこそ普段聞くことができない話を伺うことができた。」と評価いただいた。こうした地域外部者の特性は、協働のパートナーとしての行政(職員)に期待される役割のひとつと考えられる。特に意識しながら今後の業務に活かしていきたい。</p> <p>ただなによりも、私自身が、中山間地域に暮らす生活者の一人として、これからの生きかた、心構えを改めて自覚するきっかけとなった。まずは、地元の行事・各種活動への参加を出発点とし、地域社会の一員としての役割を果たしていきたい。</p> <p>お世話になったプロジェクト委員会の皆様、地域の皆様に衷心より御礼申し上げます。</p>			
<p>④ その他特記事項</p> <p>(※今後の研修実施に当たっての改善点、留意しておくべきことなどがあれば記入してください。)</p>			

(注1)研修日時・内容等がわかる資料があれば、添付してください。

(注2)研修終了後、報告会を開催します。